



2019年度 THIRD(THeme-based Intercultural Relation expeDition)プログラム ～ アジア太平洋(タイ)におけるビジネス～ 募集要項

募集期間	派遣先大学・団体	派遣期間
2019/1/9(水)～ 2019/1/28(月)16:30	Mahidol Univeristy, World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE) Bangkok	2019/6/2(日)～7/26(金) 2019年度春 semester 第2クォーター



立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第1版
(2019年1月9日)

THIRD(THeme-based Intercultural Relation expeDition)プログラムとは

科目概要と授業の特色について

このプログラムは、FIRST や SECOND で培われた経験学習による異文化学習を基本とし、さらに一段難度が高いレベルの達成を目指します。海外での授業受講と現地活動を 2 ヶ月程度行うことによってグローバルソフトスキルの向上、大学での学びの深化、大学卒業後のキャリア形成を狙います。タイトルにあるように、expedition(探検・遠征)に挑戦する高い意欲と熱意がある学生を求めます。プログラム終了後、交換留学であったり、長期のインターンシップ等世界への扉を開け続けられる知識・スキル・態度が形成されることが期待されます。

2019 年度秋 semester にはテーマを変更し、「THIRD プログラム～アジア太平洋(タイ)における農業とコミュニティ～」の開講を予定しています。ただし、THIRD プログラムを複数回受講することはできません。

[APU] 事前授業

- ・ 派遣前準備: 目標設定、ビザ申請、危機管理、インターンシップについて等



[現地実習]

- ・ 講義: タイの社会と文化、東南アジアとタイ、タイにおける日系企業活動とタイの社会
- ・ 英語学習: 実践英語(5 コマ: 予定)
- ・ タイ語学習: サバイバルタイ語(9 コマ: 予定)
- ・ インターン受入企業: 人材紹介業、留学支援業、マーケティング業、外食サービス業、法務関連等



[現地] 事後授業

- ・ インターンシップ科目: プレゼンテーション、目標到達度振り返り、キャリア選択についての考察

プログラムの概要

求める学生像/ プログラムの メインターゲット	<ul style="list-style-type: none">・ 事前授業も含む全てのプログラムに出席し、良好な参加態度で全課題に取り組むことができる学生・ 積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲がある学生・ タイに興味がある学生・ 海外での起業・インターンシップに興味がある学生・ 自ら道を切り開いていく意欲と実行力がある学生・ 将来のキャリアについて、本プログラムを通して考えたい学生
プログラム形態	<ul style="list-style-type: none">・ プログラム前半はマヒドン大学で講義を受講し、タイの経済や日本企業との関わりを学びます。プログラム後半は日本人がタイで起業した会社でインターンシップを行い、講義で学んだことを実際のビジネスの現場で体験することができるプログラムとなっています。
インターンシップ 実習先(例)	<ul style="list-style-type: none">・ World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE) Bangkok に所属する企業(人材紹介業、留学支援業、マーケティング業、外食サービス業、法務関連等)

募集概要

募集プログラム

以下プログラムで参加者を募集します。派遣先大学の情報やプログラム概要については、下記、及び、P.7-10の「募集プログラムとスケジュール」で確認してください。

プログラム名: THIRD(THeme-based Intercultural Relation expeDition)プログラム
テーマ: アジア太平洋(タイ)におけるビジネス
派遣先: Mahidol University
World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE) Bangkok
派遣期間: 2019年6月2日(日)～同年7月26日(金)
(2019年度春 semester 夏セッション開始前に帰国します。)

申請要件

- ・ P.9の「申請条件」欄を確認してください。

申請方法

各設定期間中に、以下2つのStepを行ってください。

Step 1: 2019年1月9日(水)～2019年1月28日(月) 16:30

- ・ 下記ウェブサイトから申請してください。
- ・ ウェブ申請のプロセスで、以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
 1. パスポートの顔写真ページ、顔写真のアップロード
 2. 志望理由や将来のキャリアビジョンに関するエッセイ

Step 2: 2019年1月9日(水)～2019年2月6日(水)

以下書類をアカデミック・オフィス内に設置しているポストに投函してください。

- ・ 誓約書: 申請者本人、及び保証人 **両者の直筆署名**が必要です。(誓約書はアカデミック・オフィスホームページよりダウンロードできます。)
- ・ 経費支弁書: **経費支弁者の直筆の署名**が必要です。申請者本人が経費支弁者の場合、申請者本人が記入・署名してください。

申請用ウェブサイト URL

<https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/251834?lang=ja>



パスポートについて

現在持っているパスポートが以下有効期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。

有効期限
2020年1月

パスポートコピー/顔写真のアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

パスポート: Passport_氏名_学籍番号 (例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

顔写真: Photo_氏名_学籍番号 (例: Photo_YamadaTaro_11223344.pdf)

募集ガイダンス日程

- 2019年1月17日(木) 4限目 (F103)
- 2019年1月22日(火) 5限目 (F103)

選考方法

志望理由書を重視した書類審査、成績等による総合的な選考を行います。場合によっては、面接も行います。

合否発表

- 面接が必要な場合、該当者に1月29日(火)に個別連絡しますのでキャンパスターミナルを確認するようにしてください。

面接審査(必要な場合)	2019年1月30日(水) 5限目以降
合否発表	2019年2月1日(金) キャンパスターミナルの「あなた宛の重要なお知らせ」を通して通知。
受講者ガイダンス	2019年2月7日(木) 合格者は参加必須。

参加条件

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・プログラム参加にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。P.9「費用」欄を参照してください。
- ・最終的なプログラムに要する費用(円建て)は、2019年4月末頃お知らせします。
- ・プログラムに要する費用の支払いは2回に分けて行います。初回は2019年4月初旬頃に50,000円を支払い、最終的なプログラム費用が確定後、残額を支払うことになります。詳しい日程は受講者決定後に行われる受講者ガイダンスにてお知らせします。

保険

個人で既に加している場合も、APUが指定する海外旅行保険、及びJCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

2. 参加者において必要な手続き等

航空券・渡航

- ・航空券の予約・購入は、参加決定後、大学が指定する渡航スケジュール・旅行会社にて各自で行ってください。
- ・現地集合、現地解散、フライト・スケジュールの変更をすることはできません。
- ・本プログラムの航空券予約・購入スケジュールは2019年3月末頃です。

査証(ビザ)

- ・タイ国の教育ビザ Non-Immigrant ED (Education Visa)の取得が必要になります。
- ・ビザ申請は大学が一括して取りまとめ、指定のビザ代理申請会社を通じて申請します。ただし、国籍によっては代理申請が認められておらず、各個人で申請する場合があります。
- ・ビザは、国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万一、ビザが取得できない場合は、やむを得ずプログラム参加不可となり、その場合、参加不可に関わる一切の費用(キャンセル料金等)は学生本人の負担となります。
- ・参加決定後に行われるビザ・ガイダンス(2019年4月10日(水)予定)にて、ビザ申請書類、パスポート(原本)等を提出していただきます。余裕を持って、期限が有効なパスポートを準備してください。
- ・【国際学生のみ】プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、チュードレント・オフィスで確認してください。

予防接種

受講者ガイダンスにて、APUヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。予防接種は必須ではありませんので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

3. 免責事項・注意事項

海外実習時における注意事項

- ・ 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負いません。

プログラムの中止や内容の変更

- ・ 参加者の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他受け入れ先大学の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、履修計画を行ってください。
- ・ 受講態度や出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合、最終可否発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。

可否発表後の辞退について

- ・ 本学は申請者がプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、可否発表後の辞退は原則、認められません。
- ・ 申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。
- ・ 可否発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人がキャンセル費用を支払う必要があります。

キャンセル料について

- ・ 参加者の事情により、プログラム開始前またはプログラム開始後に参加を辞退する場合、辞退する学生は、その時点で既に発生した参加者にかかる費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。予めご了承ください。

履修登録における注意事項

履修可能 / 不可科目について

2019年度春semesterは、履修科目登録が可能なクォーターとそうでないクォーターがあります。万一、誤って履修不可の科目を登録するなどの問題が判明した場合も、履修削除等の特別配慮は行いませんので注意してください。

semester 開講科目	第1クォータ 開講科目	第2クォータ 開講科目	夏セッション 開講科目
×		×	

- : 履修登録可能
- × : 履修登録不可

履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はしませんので、自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

3回生、4回生演習科目(ゼミ)の履修について

プログラムの実施semesterである2019年度春semesterにおいて、第5semesterまたは第6semesterの学生は、2019年度春semesterに3回生演習科目を履修することはできません。既に3回生演習の申請を行っている場合、プログラム参加決定後、大学が履修登録を削除する必要がありますので、申請した場合はプログラム担当者へお知らせください。

・ **英語準上級単位を未修得の場合について**

本プログラムに参加する学生が 2019 年度春 Semester 終了時に英語準上級 A/B の単位が未修得の場合、2019 年度秋 Semester に履修することになります。その場合、大学が履修科目登録 A 期間(2019 年 9 月)に科目登録します。

・ **2017 年度カリキュラムの APM 学生対象:第 3 Semester 目以降の必修科目の履修について**

2019 年度春 Semester の必修科目の開講が本プログラムと重複する場合、2019 年度秋 Semester に自動登録されることになります。

規律事項

下記 1.~4.の項目を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出してください。

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は自らの責任でおこなうこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「オフキャンパス・プログラム参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員、医師の判断によって処置することに同意すること。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(研修料・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、APUに損害を与えた場合は、必要に応じ賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負わない。

4. 入国・帰国（海外プログラムのみ）

(1) 本プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。

本プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

その他

個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号、所属学部、専攻分野、大学での学修状況があります。

姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。特に海外プログラムでは異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前に行う事前授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

宿泊

「募集プログラムとスケジュール」(P.7~10)に掲載されている各プログラムの宿泊形態を確認してください。宿泊先では、宿泊施設のルールや指示に従ってください。

THIRD プログラムに関する問い合わせ先

- ・ アカデミック・オフィス B 棟 1 階
- ・ TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス 三輪、井口
- ・ Email: atfs@apu.ac.jp

募集プログラム と スケジュール

THIRD(THeme-based Intercultural Relation expeDition) プログラム

募集時期	2019年1月9日(水) ~ 2019年1月28日(月) 16:30		
派遣時期	2019年6月2日(日) ~ 同年7月26日(金) (2019年度春セメスター夏セッションから復帰)		
派遣先	<p>Mahidol Univerisity ・ 1943年設置 ・ 国立総合大学 ・ 学生数(学部、大学院): 約52,000人 (学部数: 18) ・ Times Higher Education 2018 Asia University Ranking タイ 1位 ・ 'WORLD UNIVERSITY RANKINGS 2016-2017' (Times Higher Education) 50位</p> <p>World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs (WAOJE) Bangkok WAOJEとは、海外を拠点とする日本人起業家のネットワークであり、都市を単位としながら、世界中に活動拠点があります。世界各地で、現地に根を張り、現地の方々と相手にビジネスをしている日本人起業家が、都市や国を越えてつながることで、有意義な出会いや新たなビジネスチャンスを生み出すことを目的としています。バンコク支部は2013年に設立され、現在約80社が加盟しています。</p>		
国、地域情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ バンコク ・ 人口: 570万人 (2016年) ・ 主要産業: 観光業、卸売・小売業など 		
派遣先でのプログラム内容	<p>講義 + インターンシップ実習 + 言語(タイ語・英語) の3要素が揃うプログラム。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 タイを深く理解するための講義、タイのビジネスを学ぶ ・ インターンシップ 日本人がバンコクで起業した会社でのインターン。人材紹介業、留学支援業、マーケティング業、<u>外食サービス業、法務関連の中から希望する業界を申請時に3つ入力してください。希望の業界に配置されるとは限りません。</u> ・ 言語 インターンシップの際に必要な英語力と必要最低限のタイ語を学ぶ(単位授与は無し) 		
プログラムの流れ	2018年度秋セメスター 2019年度春セメスター	APU	<p>事前授業(インターンシップ科目) 合計: 4コマ(予定) 目標設定、ビザガイダンス、自己分析等</p>
	2019年度春セメスター (第2クォーター)	Mahidol University	<p>講義 合計: 45コマ(予定) タイの社会と文化 東南アジアとタイ タイにおける日系企業活動とタイの社会</p> <p>上記の科目はそれぞれ「特殊講義(共通教養科目分野)」として成績付与されます。</p> <p>英語学習(*) 合計: 約5コマ(予定) インターンで必要になる英語力を修得するクラスです。</p> <p>タイ語学習(*) 合計: 約9コマ(予定) 必要最低限のタイ語を学ぶクラスです。</p> <p>(*)成績は付与されず単位数には換算されませんが、プログラム参加にあたって必須の授業です。</p>

		WAOJE	インターンシップ実習 合計 約 113 時間 実習 約 105 時間 ・ 週 5 回 (7 時間 x 5 回 x 3 週) 振り返り: 約 8 時間 ・ プレゼンテーション、インターンシップ実習振り返り インターンシップ先は必ずしも希望にそった企業に配置されるとは限りません。
申請条件	<ul style="list-style-type: none"> 申請時(2018 年度秋 semester)、2~5 semester の学生 日本語基準学生は英語中級を修得しておく必要があります。2018 年度秋 semester に英語中級履修中の学生も申請可能。 英語基準学生は、日本語上級修得済み以上の日本語運用能力があることが望ましい。 申請 ~ 派遣時(2018 年度秋 semester および 2019 年度春 semester)を通して、通常在籍状態である学生。 2018 年度秋 semester 終了時に英語中級を修得できていない場合は、合格を取り消します。 <p>* 本プログラムは、タイのビジネスについて興味がある学生、海外で起業を考えている学生、海外でのインターンに興味がある学生の参加を強く推奨します</p>		
科目名称/ 成績	科目名称	特殊講義(共通教養科目) x 3 科目	
	開講言語	日本語開講:「タイの社会と文化」、「タイにおける日系企業活動とタイの社会」 英語開講:「東南アジアとタイ」	
	単位数 / 評価	各 2 単位 / レターグレード(A+,A,B,C,F)評価 成績は以下の通り付与。 特殊講義(共通教養科目)(J) 2 単位 特殊講義(共通教養科目)(E) 2 単位 特殊講義(共通教養科目)(J) 2 単位 (計 6 単位)	
	科目名称	インターンシップ	
	単位数 / 評価	2 単位 / P/F 評価 成績は以下の通り付与。 インターンシップ(J) 2 単位	
	<p>合計修得見込単位数 8 単位</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前授業を含むすべてのプログラムに参加し、良好な参加態度と課題をすべてこなすことが単位取得には必須です。 <p>履修登録および単位授与時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該科目は、2019 年度春 semester 第 2 クォーター科目として大学が登録します。 当該科目の単位は、2019 年度春 semester の履修登録上限単位数に含まれます。 本プログラムに参加決定した場合は、2019 年度春 semester において semester 科目および第 2 クォーター科目を履修することはできません。 		
担当教員	近藤 祐一 教授		
費用	<p>プログラムに要する費用: 約 360,000 円 (含まれるもの) Mahidol University での授業料、宿泊費、交通費(スワンナプーム空港 マヒドン大学、マヒドン大学 バンコク)、インターン参加費、VISA 料金 及び 代行手数料、APU 指定海外旅行保険 及び 危機管理システム(J-TAS)</p>		
	<p>(別途支払いが必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空券: 約 150,000 ~ 250,000 円 (各自で予約/支払い。但し支払い先および利用便は大学が指定。) 現地生活費 / 現地交通費 / 食費 予防接種費 (任意) その他 上記に記載の無いもの 		
	<p>[NOTE]</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記「プログラムに要する費用」は 2019 年 1 月 9 日時点の概算(目安)。最終金額は 2019 年 4 月末頃に連絡します。 プログラム費の支払いは 2 回に分けて行います。初回は 4 月初旬に 50,000 円を支払い、プログラム費が確定した後、残りの残額を支払うことになります。詳細は受講者ガイダンスにて説明します。 「プログラムに要する費用」は日本円で APU への支払いとなります。 APU の学費は、プログラム費とは別途通常通りの納入が必要です。 万一プログラム参加決定後に、やむを得ず参加辞退する場合、キャンセル料の支払いが発生する可能性があります。詳しくは、「参加条件、3. 免責事項・注意事項、『プログラム参加決定後(合否結果発表後)の辞退について』、及び『キャンセル料について』」をご参照ください。 		

宿泊形態	<ul style="list-style-type: none"> マヒドン大学での滞在先は、マヒドン大学が斡旋するアパートとなり、本プログラム参加学生とのルームシェア(2人部屋)になります。 インターンシップ中の滞在先はバンコク市内のドミトリーを予定しています。(変更あり)
募集人数	25名 (最少催行人数: 10名)

今後のスケジュール

日程	内容
2019年	
1/9(水)～1/28(月)16:30	募集期間
1/17(木) 4限目 (14:15-15:50)	募集ガイダンス (1回目) @F103
1/22(火) 5限目 (16:05-17:40)	募集ガイダンス (2回目) @F103
1/28(月) 16:30	募集締切
1/30(水)の5限目以降	面接(必要な場合のみ)
2/1(金)	合否発表
2/6(水)16:30	誓約書、経費支弁書提出期限
2/7(木) 5限目以降	受講者ガイダンス (科目概要、ビザ準備)
3月末	航空券予約等
4月初旬	プログラム費支払(50,000円)
4/10(水)(予定)	受講者ガイダンス (ビザガイダンス)
4月	事前授業
4月末	プログラム費支払(残額) 海外旅行保険/J-TAS 危機管理システム費支払い、
5月	危機管理授業 事前授業
6/2(日)	日本出発 (同日現地着)
7/26(金)	現地出発
8/2(金)	最終レポート提出
9/9(月)	成績発表

*上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後に案内します。